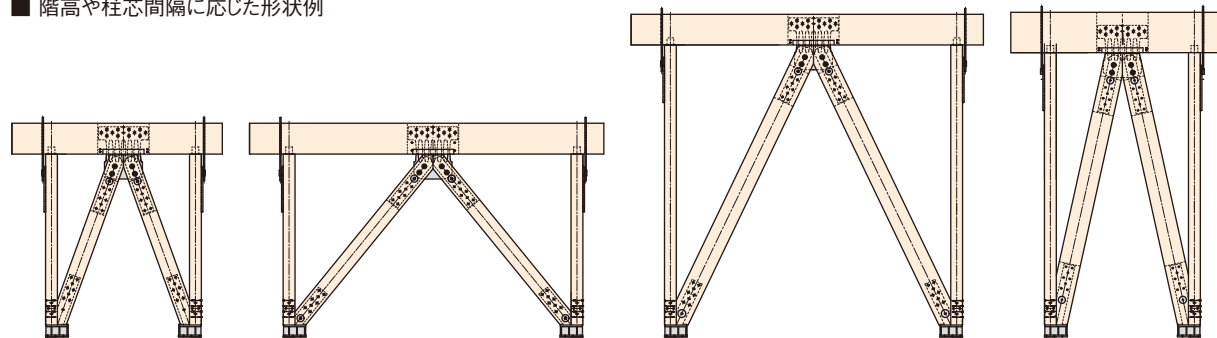


## ■ ご検討時のQ&amp;A

**Q** 階高や柱芯間隔が変わっても対応できますか？

**A** マニュアルおよび評価書の適用範囲内であれば対応できます。建物条件に応じて木質ブレースの角度や部材断面などを設定し、建物ごとに製作します。詳しくは、ホームページのマニュアルおよび評価書をご確認ください。

■ 階高や柱芯間隔に応じた形状例



**Q** 耐力壁に必要な部材はすべてセットに含まれますか？

**A** すべての部材がセットに含まれているわけではありません。木質ブレース、柱、梁および柱頭部接合金物は、別途ご用意ください。ブレース脚部・柱脚金物は物件ごとに設計・製作するため、別途ご依頼ください。セット内容は、中面の構成図をご確認ください。

**Q** 標準品として在庫されていますか？

**A** 本製品は標準品として在庫していません。建物条件に応じて仕様を検討し、建物ごとに製作する受注生産品です。納品までに時間を要するため、ご使用予定がある場合は、お早めにBXカネシン MP 課へご相談ください。お問合せ先は中面をご確認ください。

**Q** 許容応力度等計算（ルート2）以外でも使用できますか？

**A** 許容応力度等計算（ルート2）のほか、建築基準法施行令第46条第2項およびルート1による構造計算を行う建物でも使用できます。

# BXカネシン株式会社

<https://www.kaneshin.co.jp/>

Tel.0120-106781 Fax.0120-677010

携帯電話からはこちらTel.03-3696-6781 技術的なお問合せTel.03-5671-1077

事業所一覧



取扱店

K20260928A

2026年  
10月1日発売

共同開発

京都大学  
株式会社構造計画研究所  
BXカネシン株式会社

ご注文・お見積り  
には専用発注書  
をご使用ください。

受注生産品 納期を事前にお問合せください。

〔木質ブレース接合金物〕

## MPティンバーブレース耐力壁

最大40.4kN/mの短期許容せん断耐力に対応する、木質ブレース耐力壁用の接合金物です。建物条件に応じてブレース角度を設定し、建物ごとに製作します。水平力を受けた際にダンパー部が先行して変形し、木質ブレースにかかる負担を軽減します。



### 1 構造計算を効率化

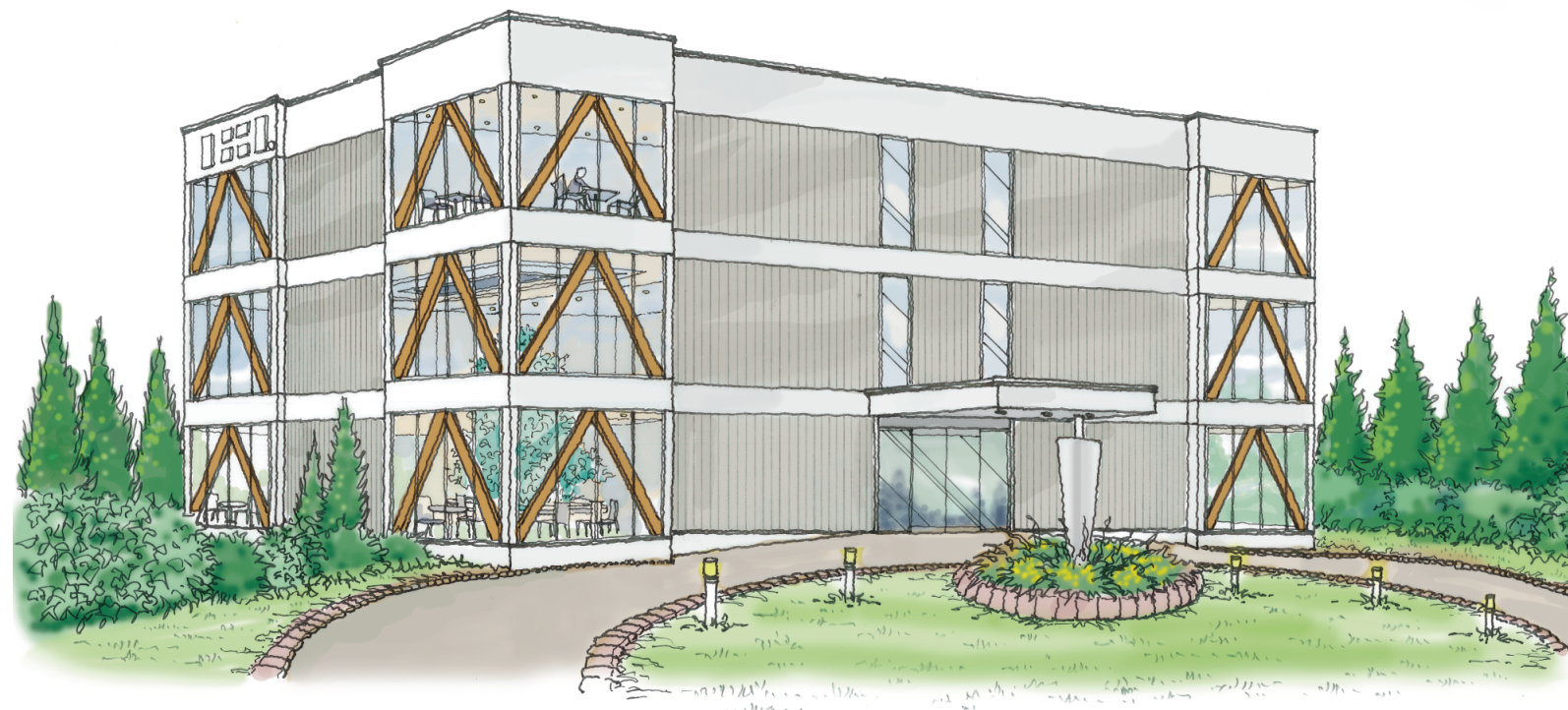
制振の技術に応用した構造により、許容応力度等計算（ルート2）を採用した場合、筋かいが負担する水平力の割合 $\beta$ に応じた応力割り増し係数 $\gamma$ を1.0にできます。

### 2 耐力検討の手間を削減

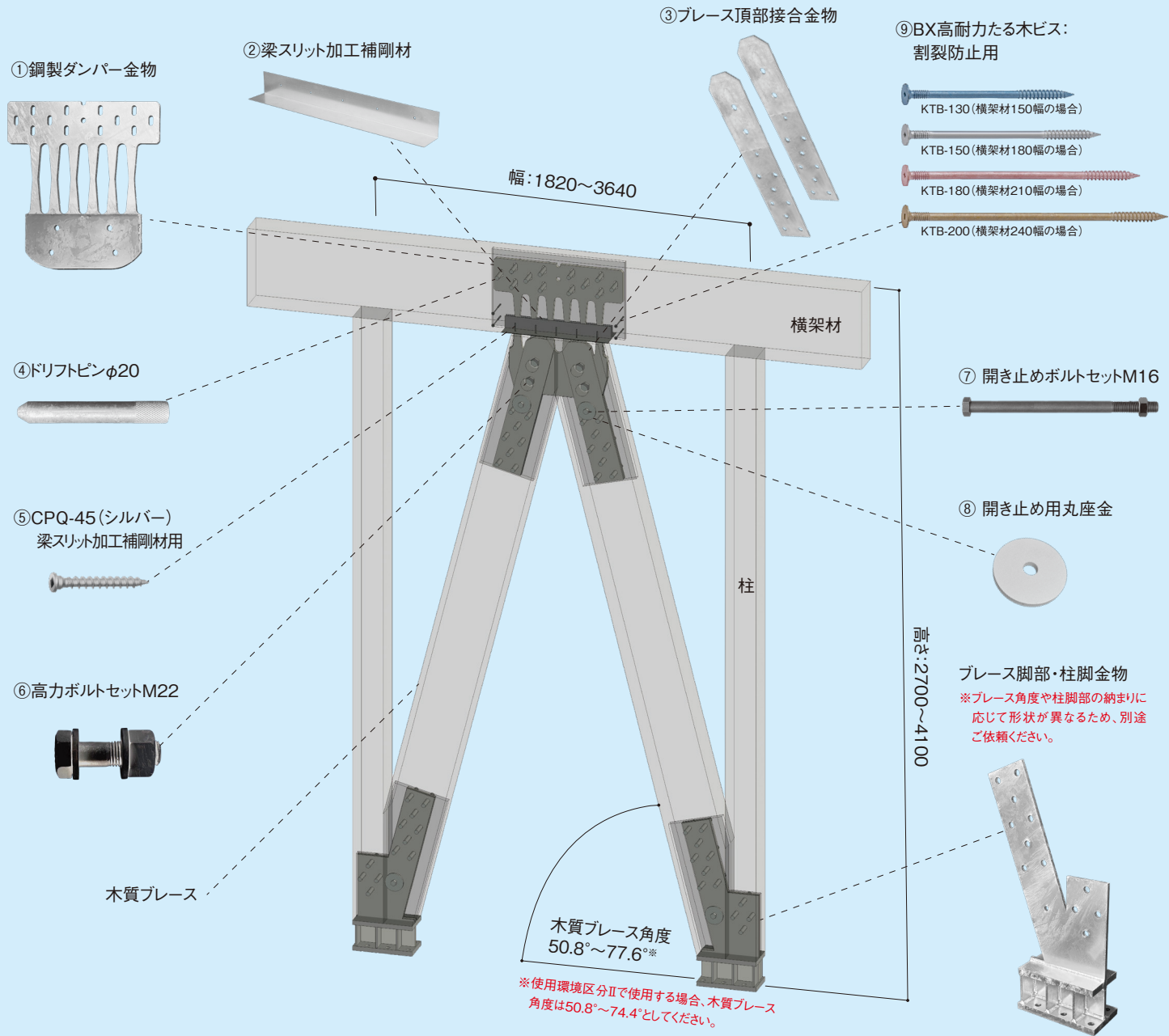
建物条件に応じた短期許容せん断耐力を確認でき、壁倍率やブレース剛性を個別に検討する手間を削減できます。

### 3 設計・採用しやすいシステム

建物条件に応じてブレース角度や仕様を設定できます。また、標準図や専用発注書を整備し、第三者機関の評価も取得しています。



■ 耐力壁1構面あたりの構成品・スパン制限(mm)



■ 1セットの内訳

|     | 名称                         | 数量(1セット) |
|-----|----------------------------|----------|
| 本体  | ① 鋼製ダンパー金物                 | 1個       |
|     | ② 梁スリット加工補剛材               | 2個       |
|     | ③ プレース頂部接合金物               | 4枚       |
| 付属品 | ④ ドリフトピンφ20                | 44本      |
|     | ⑤ CPQ-45(シルバー):梁スリット加工補剛材用 | 10本      |
|     | ⑥ 高力ボルトセットM22              | 4セット     |
|     | ⑦ 開き止めボルトセットM16            | 4本       |
|     | ⑧ 開き止め用丸座金                 | 8個       |
|     | ⑨ BX高耐力たる木ビス:割裂防止用         | 4本       |

※木質プレース、柱、梁および柱頭部接合金物は、別途ご用意ください。  
プレース脚部・柱脚金物は物件ごとに設計・製作するため、別途ご依頼ください。

■ 施工イメージ

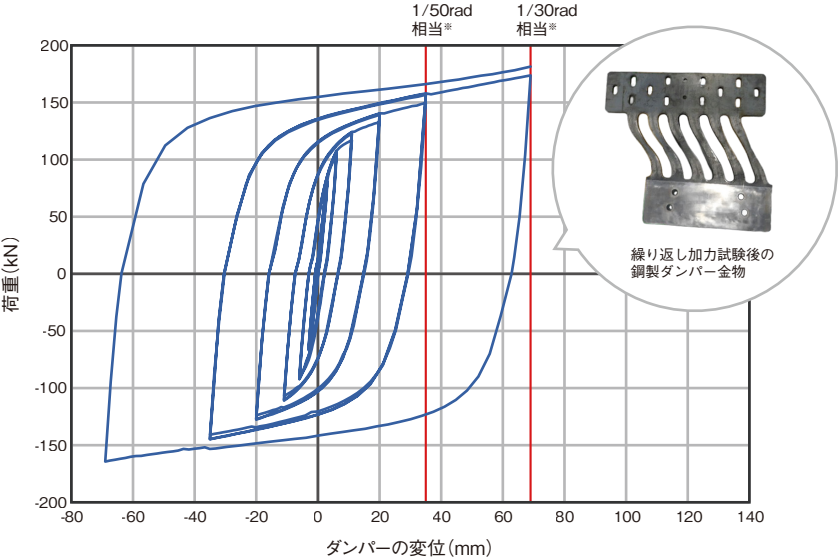


■ 制振の技術を応用した耐力壁

履歴曲線が囲む面積が大きいほど、繰り返し変形時に吸収するエネルギーが大きいことを示します。MPティンバープレース耐力壁は、このエネルギー吸収特性により、木質プレースにかかる負担を軽減します。

ダンパー単体要素試験の荷重－変形履歴曲線

ダンパー単体の要素試験において、各変形段階で3回の繰り返し加力を行い、履歴特性が維持されることを確認しました。



※ダンパー変形により想定される耐力壁の層間変形角

MPティンバープレース耐力壁耐力

| 横架材<br>天端間隔<br>(mm) | 1mあたりの短期許容せん断耐力(kN/m) |      |                  |
|---------------------|-----------------------|------|------------------|
|                     | 柱芯間隔(mm)              |      | 木質ブレース<br>断面(mm) |
|                     | 1820                  | 3640 |                  |
| 4100                | 32.1                  | 21.4 | 150×270          |
| 3700                | 33.6                  | 21.7 | 150×210          |
| 2700                | 40.4                  | 22.4 |                  |

※梁成は390mm以上とし、木質プレースの角度は50.8°~77.6°の範囲内でご使用ください。（一財）建材試験センター  
※上記仕様以外の短期許容せん断耐力は、ホームページのマニュアルをご確認ください。

木材の適用範囲

| 部材     | 樹種・等級                               | 寸法              | 適用条件           |
|--------|-------------------------------------|-----------------|----------------|
| 横架材    | スギ対称異等級構成構造用集成材 E65以上※1             | 150(幅)×390(成)以上 | —              |
| 柱      | スギ同一等級構成構造用集成材 E65以上※1              | 150(幅)×150(成)以上 | —              |
| 木質プレース | オウシュウアカマツ対称異等級<br>構成構造用集成材 E105以上※2 | 150(幅)×210(成)以上 | 2700≤階高≤3700mm |
|        |                                     | 150(幅)×270(成)以上 | 3700<階高≤4100mm |

※1 樹種群J3以上 ※2 樹種群J2以上

MPティンバープレース耐力壁

※赤字の商品は納期・送料を確認してください。

| 型番    | 出荷単位                                                                                                                                                                                                                                        | 梱包                       | 作業工程別梱包の分類 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|------------|
| MP-TB | 1セット                                                                                                                                                                                                                                        | 1セット(1壁分)<br>(付属品は別梱包です) | 上棟         |
|       |                                                                                                                                                                                                                                             |                          |            |
| 材 質   | 鋼製ダンパー金物:JIS G 3136 SN400B<br>梁スリット加工補剛材:JIS G 3141 SPCC<br>プレース頂部接合金物:JIS G 3101 SS400<br>プレース脚部・柱脚金物:JIS G 3101 SS400<br>高力ボルトセットM22:F10T<br>開き止めボルトセットM16:JIS B 1180に規定する強度区分4.6以上に適合する炭素鋼<br>開き止め用丸座金:JIS G 3131 SPHCまたはJIS G 3141 SPCC |                          |            |
| 表面処理  | 溶融亜鉛めっき等(案件ごとにお問合せください。)                                                                                                                                                                                                                    |                          |            |
| 構 成 品 | 鋼製ダンパー金物×1個、梁スリット加工補剛材×2個、プレース頂部接合金物×4枚、ドリフトピンφ20×44本、CPQ-45(シルバー)×10本、高力ボルトセットM22×4セット、開き止めボルトセットM16×4本、開き止め用丸座金×8個、BX高耐力たる木ビス×4本                                                                                                          |                          |            |
| 承認等   | (一財)建材試験センター 評価書 第25ER042号                                                                                                                                                                                                                  |                          |            |

！必ずマニュアルをご確認ください。

各資料は、BXカネシンホームページの「MPティンバープレース耐力壁」製品情報ページ内の資料欄からダウンロードできます。

※専用発注書を除き、初回のみユーザー登録が必要です。



お問合せはBXカネシンMP課まで。

お電話から

Tel 0120-106781  
Tel 03-3696-6781

PC・スマートフォンから

[ BXカネシントップページ ]

[ お問合せ・資料請求 ]

[ MP木造建築のご相談 ]



お問合せフォーム

用途

●木質プレースを用いた耐力壁において、木質プレースの端部に使用します。

特長

- 柱芯間隔1820~3640mm、横架材天端間隔2700~4100mmの範囲で使用できる、壁倍率10倍~20倍相当の高倍率耐力壁です。
- 木質プレースを個別に設計する場合と比べ、接合部の検討手間を削減できます。
- 水平力を受けた際にダンパー部が先行して変形し、木質プレースへの負担を軽減します。
- 木質プレースを用いることで、視線の抜ける開放的な空間設計に使用できます。
- 構造計算に許容応力度等計算(ルート2)を採用した場合、筋かいが負担する水平力の割合βに応じた応力割り増し係数γを1.0にできます(昭和55年建設省告示第1791号第一第一号)。
- 京都大学・株式会社構造計画研究所との共同開発製品です。

注意事項

- 鋼製ダンパー金物は、木質プレースの角度に応じて仕様が異なります。
- ご注文の際は専用発注書をご使用ください。
- ご使用前に必ずマニュアル・評価書にて、適用範囲および設計上の注意事項をご確認ください。